



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6坂町MEビル2F TEL 03-5919-3261  
 発行人：森 啓記

サービス連合は2015年7月に行われた第15回定期大会において2013年度からの4年間の目標「組織人員50,000人」達成にむけ、サービス連合全体で組織拡大に取り組むことを確認しました。運動を前進させるべく、各加盟組合において様々な取り組みが行われています。

今回は、藤田観光労働組合と日本旅行労働組合のご協力のもと、各組織の組織拡大にむけての取り組み事例について紹介します。

各加盟組合において、サービス・ツーリズム産業労働者の社会的地位向上と労働条件の維持・向上をはかるためには、この産業で働く仲間の総結集の必要性を改めてご理解いただき、組織拡大に引き続きご協力をよろしく願います。

## BE WIDE ORGANIZATION ~ 2015年度 組織拡大取り組み事例 ~

# 全国集中オルグを実施！ 組合活動に理解を示す従業員が多数！！

## 藤田観光労働組合

藤田観光労働組合（田中太郎委員長）では、“仲間を増やす活動（契約社員・パートナー社員の組織化）を推進する体制の構築”を前期方針に掲げ、労働組合活動をできるだけ多くの組合未加入の従業員に知ってもらうことや、どうすれば加入に繋がるかのアプローチ方法を検討する機関として「労働組合を知ってもらい隊」を発足させました。

発足2年目を迎える今期は、仲間を増やす活動の積極的な展開を方針に掲げ、2015年9月に全国集中オルグを実施し、「労働組合を知ってもらい隊」を中心として全国4支部30分会で約120名の組合未加入従業員を対象とした「労働組合説明会」を開催しました。



「労働組合説明会」の様子

中央本部の執行部と支部・分会の執行部とがタッグを組み説明する形で行われた「労働組合説明会」では、『労働組合とは？』や藤田観光労働組合における『労働条件改善の取り組み事例』などについてまとめた15頁ほどのレジュメを使い、約1時間かけ、丁寧かつ解りやすく、組合未加入者の従業員の皆さんに説明を行いました。

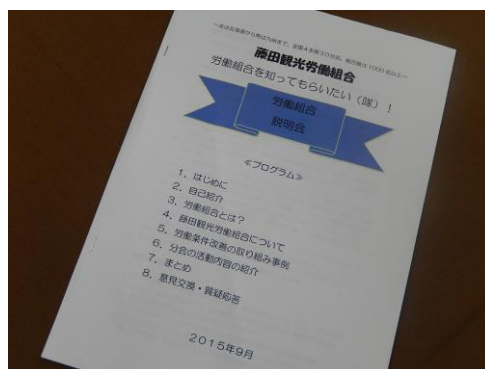
結果、10月27日現在で組合活動に理解を示した従業員が52名、

そのうち50名からは加入申込書を回収することが出来ました。また複数の支部においては、説明会後すぐに労組活動に対して理解を示し加入に繋がった好事例もあり、改めて顔と顔を合わせる“オルグ活動”の重要性や大切さを感じる事が出来る結果となりました。

藤田観光労働組合では、今後、新規加入者へのサポートはもちろんのこと、継続的な企業内組織拡大にむけてスケジュール感を持った取り組みを進めていきます。



「労働組合を知ってもらい隊」の皆さん



# 組織拡大担当者を対象としたプロジェクトを開催！



## 日 本 旅 行 労 働 組 合

日本旅行労働組合（岡崎功委員長）では、2015年10月14日日本橋社会教育会館（東京都中央区）において、2015年度第1回組織拡大プロジェクトを開催しました。

2014年度からスタートした今回のプロジェクトは、企業内における組織拡大の取り組み手法や現況などについて共有を図り、意見交換を行うなど、日本旅行労働組合の各地方本部組織拡大担当者を対象に行われており、今期が2年目の取り組みとなります。

2015年度の初回（計3回開催予定）となる今回のプロジェクトでは事務局を合わせ計9名の参加者が集い会議が開催されました。冒頭、サービス連合の吉松組織局次長および日本旅行グループ労働組合連合会宮坂会長より、前期までの活動総括ならびに今期の活動方針における組織拡大事項の説明などを行い、参加者は真剣な眼差しで話を聞いていました。

その後、岡崎委員長進行のもと、中央本部における「2014年度活動報告」ならびに「2015年度活動方針」などについて報告を受け、その後、各地方本部における「取り組みの振り返り」について組織拡大事項の共有や、「今後の活動方針」の企業内組織拡大にむけた各議題において活発な意見交換が行われました。

日本旅行労働組合では、今後も組織拡大プロジェクトメンバーを中心とし、職場・地方本部・中央本部とが一体となり、目標感も持って、同じ職場で働く契約社員の組織化にむけ、全力で取り組みを進めていきます。



日本旅行労働組合 岡崎委員長



日本旅行グループ労働組合連合会 宮坂会長



「組織拡大プロジェクトメンバー」の皆さん



「組織拡大プロジェクト」の様子

サービス連合では、事例共有や資料提供をはじめ、加盟組合の会議等に参加し組織拡大の意義について説明するなど、加盟組合の組織拡大について取り組み支援を行っています。

今回ご紹介した加盟組合における組織拡大にむけた取り組みについて共有するとともに、各組織においても、さらなる組織拡大を目指し、サービス連合全体で取り組みましょう。

